

きんぐで安全な海を未来へ！日本の海の守る縁の下の力持ち

きんぐかけ

私は、夏休みの理科の宿題をする際に、このテーマを選んだ。その理由は、海のことば

統合のSDGの授業で聞いた家族で遊びに行ったりすることもある。関わりがある。しかし、港のことは、地図記号が「山」だということくらいしか

親しみがなく、港に関する知識や港に関する職業を知らないと思っただけ。そして、船も同じく乗ったこと

あるし、様々な種類があることは知っているが、今回の機会にどんな船によって海が守られているのかを知り、おきたいと思っただけ。

このようなきんぐかけから今回は安全な貿易で港や日本を支える「通関士」と



安全な貿易で港や日本を支える「通関士」

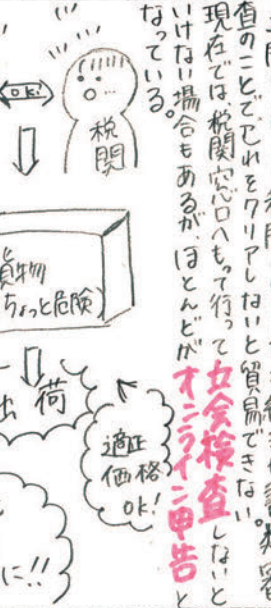
通関士とは、貨物の輸出入の時に必要な手続きをする仕事で、税関に関する仕事だ。この手続きをしないと貿易ができず、安全で便利に暮らしをしていけない。それくらい大切な仕事で、通関士の資格が誕生したのは最近だが、江戸時代から通関士の仕事は存在していた。(通関士の歴史年表)

出来事
一八五三 江戸時代 税関の前身となつた「運上所」という役所ができる。
他国との貿易が活発になる。
税関という名前に改称される。
通関士という仕事も増える。
一九四六 日本国憲法がつくられる。
多くの仕事に国家資格として誕生する。
通関士は登録される。
一九六七 通関士の資格が誕生する。

●通関士の仕事内容
通関士の仕事の中で今回紹介するのは三つ。
①通関申告書類の作成
通関申告書類とは、日本が外国に対して、虫や害獣の侵入を報告する「輸入書」や、貨物の数量や内容などの情報を記入する「パッキングリスト」を輸出するための船を確保したことを示す「船積依頼書」などとして、輸入時は「保税料明細書」「運賃明細書」など貿易のために必要な書類のことである。この書類を作成するためには、貨物の中身についてよく知ることが大切だ。例えば、同じスニーカーでも布、化学繊維なのか、革なのか、素材によって関税が違ってくる。そのため、細かいところまでチェックする必要がある。

が必用だ。そして、通関士は、貨物を見極め、関税を決めるため、関税に関する知識も必要だ。
②通関申告の代行
通関申告とは、税関への申告手続きや書類審査のことで、これをクリアしないと貿易できない。現在では、税関窓口へも、行って「女性検査しない」といけぬ場合もあるが、ほとんどが「オンライン申告」となっている。

③通関申告の代行
通関申告とは、税関への申告手続きや書類審査のことで、これをクリアしないと貿易できない。現在では、税関窓口へも、行って「女性検査しない」といけぬ場合もあるが、ほとんどが「オンライン申告」となっている。



④通関申請に関する不服申し立て
通関申告をした際に書類に不具合があった場合に修正するのも通関士の仕事だが、それでも却下されてしまった場合、税関に直接不服申し立てできるのかわ通関士でもある。

このように通関士は税関と協力して、より適正な貿易ができるように、港や私たちが守れるように働いてくれているのだ！

⑤通関士のメリットとデメリット
通関士はこれまで書いたように、貨物の輸出入に関する重要な書類やお金を取り扱う仕事なので、やりがいがあると同時に、その反面、デメリットもある。将来の仕事を考える今の私たちが、その仕事を多面的に見るのは大切だ。

活やくの場が広くスワールが大きいため、やりがいがある。通関士の仕事は、貿易に関するため、外国企業や港関税など、活やくする場が広く、国内だけでなく、あまらう。そのため、やりがいも大きいそう。

「男女問わず働く人」が働ける。昔の日本は、男性は仕事、女性は家事という風習があり、今でもそれが残っている職業がある。しかし、通関士は、女性も多く活やくしている。(男性ももちろん)特に通関士は、土日や休みのことが多い。そのため、中の方でも働かす、すいと言われている。

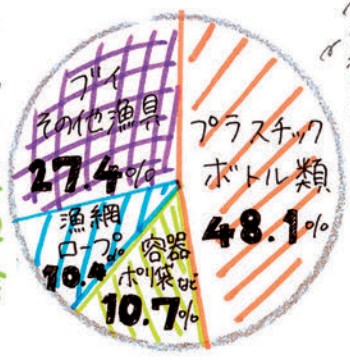
少しのミスで会社が大変なことになる。通関士の仕事は、重要な荷物を扱うため、少しのミスでも業務がストップしたり、通関業務に支障をきたす可能性がある。業務停止命令や営業許可取り消しが下されることもあり、一人のミスで社員や会社が危険な状態になる。また、他にも、資格停止命令、罰金などが下される場合もある。しかし、言い換えれば、責任感が大切という点、丁寧に正確に作業をこなせる人には、この仕事だ。

●通関士の国家資格
通関士は一九六七年に国家資格が誕生したため、もちろん国家試験を受け合格する必要がある。
通関士試験は年に一回行われるが、その合格率は、お医者さんになるより低く、**15.5%**と、難しいことではある。

- ①通関業務法について
- ②関税法・関税定率法・関税に関する法律
- ③外国為替・外国貿易法
- ④通関書類の作成要領
- ⑤通関手続きの実際
- ⑥二つ目は法律に関する知識問題と応用問題
- ⑦三つ目は実技試験で合格した人も、これがかなり難しい！という人が多い。

海の現状

現在、海では環境問題の一つとして、**ごみが多い**という課題を抱えている。
ごみの種類としては次のようなものが挙げられる。



これらのごみは、**海辺に捨てられたものや、風に飛ばされて行きついたもの**など、経路は様々だが、何にせよ、これら人間が出したごみによって、海が汚れ、きれいな海にすんでいた海の生き物が死んでいっている。
例えば、**オトセイ、ウミガメ**など大きな生き物は、**魚網にかうま**て死んでしまうことがある。
またエサとまちがえて**レジ袋**を誤食・誤飲してしまて死ぬこともある。

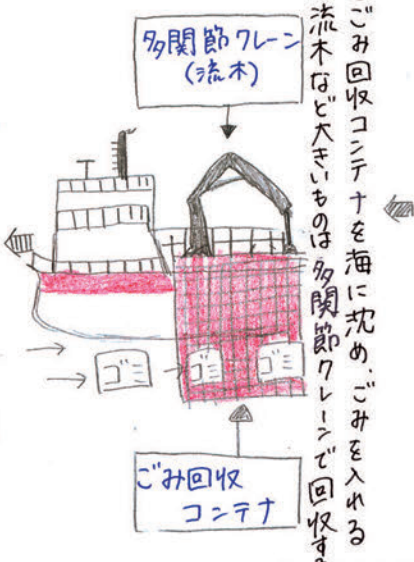
このような海を少しでも減らそうと、活動しているのが、**海面清掃船**。まさに「故、おかしな海のヒーロー」である。

海面清掃船

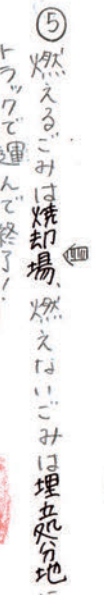
放っておかれない海のヒーロー
海面清掃船とは、海からごみをなくすため、海面に浮遊するごみを回収する船のことだ。
この縁の下の方もいろいろからこそ、私たちがきれいな海をながめ、そこで採れたおいしい魚を食べることができると。

●海面清掃船の仕事
海面清掃船の仕事は主に二つある。
①「ごみ回収」
②「ごみ回収」

① 長年の経験とデータからごみの集まりやすいところと推定し、探索コースを決める。
② ごみ回収コンテナを海に沈め、ごみを入れる。流木など大きいものは多関節クレーンで回収する。

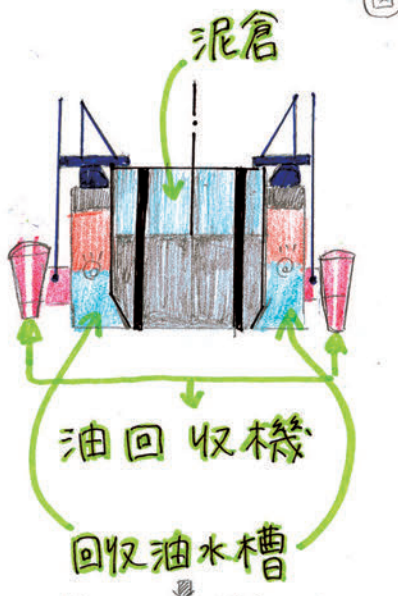


③ コンテナをクレーンで陸に引き揚げる



③「ごみ」油回収

油回収もごみ回収と同じくらい大切だ。
ここで回収する油は主に、船・工場の事故によって流れ出した油である。この油は、風や波によって広範囲に広がってしまう。そして海が汚れるだけでなく、生物・海産物にも被害を及ぼす。
☆油回収のポイント
油回収では、油回収装置を使う。これですべての油と水を分離できるというところだ。これが出ることにより、無駄に水をすくいあげることがないことに加え、サラサラな油からネバネバな油まで対応できる。



●海面清掃船に乗っている人の仕事
①「ごみ回収の場合」
●海面清掃船に乗船し、船上からごみを回収する。
●運ばれてきたごみの陸揚げ作業
●油回収の場合
●油回収作業
●航行拡散作業 などなど。

●向いている人や必要な資格
海技免状など。特に必要な資格はない。
しかし、なかほかの肉体労働なので、**体力に自信のある人**
海や港・船を好きになる人が向いているそう。

●海面清掃船の種類・おおよそ2000(中国地方)
●海翔丸(九州地方が運用) おおよそ2000(中国地方)
●Dr.海洋(神戸) がんりゅう(九州地方) 美護(四国地方) 方)・ワリン(ほりま(神戸) いづろ(四国地方)。

感想・自分の考え

私は今回「通関士」と「海面清掃船」について調べてみて、どちらも今まで聞いたこともないことにもなる。たいてい、私たちが安全に海と暮らす上で大切な仕事だ。たいてい、縁の下の方もいろいろからこそ、私たちがきれいな海をながめ、そこで採れたおいしい魚を食べることができると。
二つ目は「考えること」だ。例えば、私は「海面清掃船」の仕事を知ると共に、海にも油ごみが出ていること、生物たちの悲惨な現状について知り、自分が分別したり、ごみを減らしたり、友達を誘って、周りの家族、友達を促して、ごみを減らすことと、海ごみ問題に発展させようという考えも大切だと考えた。
三つ目は「動くこと」だ。例えば、海面清掃船のことを知って改善点が見えたら、ボランティアに参加したり、清掃活動を行う、通関士について知ったら、レポートを自分で身近な人に紹介するなど、発信していくことも大切だと考えた。

